

令和 7 年度 日置市教育委員会定例会(6 月)

○日 時：令和 7 年 6 月 20 日（金） 午後 2 時 00 分～午後 3 時 00 分

○場 所：日置市中央公民館 研修 2・3（3 階）

○出席者：奥教育長

委 員：内村委員・鵜木委員・中川委員（欠席）中島委員

事務局：東（事務局長兼教育総務課長）・段原（学校教育課長）

入佐（社会教育課長）・内田（東市来支所教育振興課長）

大迫（吹上支所教育振興課長）・宮前（教育総務課長補佐）

（欠席）坂上（日吉支所教育振興課長）

1 開会

奥教育長： 日置市教育委員会 6 月の定例会を開会します。本日は中島委員が欠席です。

2 前回議事録の承認

奥教育長： 前回 5 月の議事録の承認をお願いいたします。変更や修正等はありませんか。

鵜木委員： 1 つありました。3 ページ 3 段目に「給食は明治 22 年に～」とありますが、その後に「生活が苦しい『庭』の子ども達のために」となっています。

奥教育長： 「家庭」ですね。ありがとうございました。

他にございませんか。

（特になし）

よろしかったでしょうか。

（異議なし）

それでは、1 カ所修正をいたしまして、5 月の議事録は承認とさせていただきます。

【前回の議事録承認】

署名・押印は、内村委員と中川委員をお願いいたします。

3 委員及び教育長の報告

奥教育長： 委員及び教育長の報告です。

本日は中島委員がご欠席ですので、鶴木委員からお願いいたします。

鶴木委員： 報告させていただきます。

5月26日は、鹿児島教育事務所との合同計画訪問で妙円寺小学校を訪問しました。

新たに鹿児島教育事務所に赴任された坂口所長や重藤指導課長にとっては、妙円寺小学校の計画訪問が日置市において初めての学校訪問だとお聞きし、特に坂口所長は高校籍であることから、初めて小学校の授業を参観するということでした。

ちょうど5月から6月にかけては、教育実習が行われている時期でもあり、卒業生2人が実習に来ているとお聞きしました。

妙円寺小学校は日置市内の学校では歴史が浅く、創立42年目を迎え、児童数454人、教職員数37人で構成されており、「ふるさとを思い、心豊かでたくましく 学びに向かう児童を育成する」を学校教育目標に掲げ、「きよく かしく たくましく」を校訓として、「豊かな心」「確かな学力」「たくましい体」の育成に向かって様々な活動が展開されていました。

学力については、全国平均を上回る結果を示してはいるものの、家庭での学習時間の不足から基礎・基本の未定着な児童や文章読解力が劣る児童が見られるそうです。

また、不登校の児童は3人いるとのこと、いずれの児童も、保護者と定期的に連絡を取り合い、不登校解消に向けて協力を続けていると説明を受けました。

体力については、ほとんどの種目が全国平均を下回っており、肥満傾向の児童が7.8%を占めることを考えると、生きる力を支える土台作りとなる体力向上については、家庭を巻き込んだ取組が必要だと指導させていただきました。

本年度は入学式で告辞をさせていただいたり、地域住民の1人であつたりする関係で、「妙円寺地区は自治会への加入率も高く、子どもがお世話になった学校ということで協力してくださる方も多くいらっしゃるの、地域の方々を活用してください」とお願いしました。

重ねて、「妙円寺大行進への参加やサイエンスクラブの設立など、地域住民に支えられた活動も多く見られることや、入学式へ出席された地域の方々が、他の校区では見られないくらい数多くいらっしゃることからも、学校を支援していこうとする姿勢が感じ取れる地域です」と伝えました。

30日は、市教委の学校訪問で花田小学校を訪問しました。

学校教育目標は「夢に向かって学び続ける子どもの育成」で、「かしこく」「やさしく」「たくましく」を校訓に、豊かな心の育成、確かな学力の育成、健やかな体の育成のための目標が掲げられていました。

また、校内のいたる所に日新公いろは歌が掲示されていて、先人を敬う心が育っていると感じました。危惧されるのは、現在25人いる児童の減少が続き、3年後は20人未満になるそうです。

本年度は、へき地・小規模校の九州地区研究大会に向けた取組が進んでおり、授業参観を通して小規模・複式学級の長所を生かして、学習指導では「一斉指導の時間」「一人学びの時間」「友達との協働的な学びの時間」の3つの形態を効果的に組み合わせ、学力の定着を図るよう努めていると感じました。

施設参観の時に校内を見て回りましたが、サッカーゴールもきちんと固定され、遊具もペンキが綺麗に塗られ、一輪車も整然と並べられていました。

校外に出ると、国道沿いに学校を紹介する看板があり、「笑顔いっぱい 学びいっぱい 花田小学校」と書かれ、「小学校入学時、卒業時 お祝い記念品贈呈」の文字が目に入りました。

その下には「楽しい行事 わくわく体験活動 みんな仲良し一緒に学ぼう」と書かれ、いろは歌かるた取り大会や、もちひっぱれ、川遊び、太鼓踊りなど、11の授業風景が写真で紹介されていました。この看板が、もう1枚、花熟里交差点にあれば、花田小学校の充実した教育活動の様子が一目で分かり、特認校制度活用の一助としても有効ではないかと思いました。

特筆されるのは、校歌が5番まであることです。その校歌には、校区の歴史や住民の願い、保護者の思いなどが込められていて、まさに「ひおき学」そのものが謳い込まれていると感じました。

学校訪問を終え、その足でいちき串木野市へ移動して、地区教育委員会連絡協議会総会と研修会に参加しました。

総会は、事業報告、決算報告と本年度の事業計画及び予算案が示され、承認されました。さらに、本年度の連絡協議会の役員が決定されました。

続く研修会では、高校教育課生徒指導班の福元浩子指導主事が、「児童の居場所、絆づくりの場としての学校」と題して講話をされました。

本県の子ども達の状況としては、いじめの解消率が75.8%で全国平均より低く、不登校の児童生徒も年々増加しているとのことでした。もはや学校は、楽しく安全に通える場所ではなくなっているとのことでした。

自殺者については、国全体では減少傾向にあるものの、児童生徒に至っては増加傾向にあるようです。

今の世の中は、子どもの関心を引くゲームやSNS、動画サイト、音楽配信などが溢れているため、児童生徒の居場所、絆づくりの場としての学校は、安心して楽しく通える魅力ある環境づくりに努める必要があるようです。その学校づくりのために取組を行っている例として、川内北中学校と本市の土橋中学校が紹介されました。

生徒指導は、何か起きた時に対処することではなく、日々の生活の中で、たわいのない声掛けが生徒指導に繋がり、「学校や教師は自分を大切にしている」と感じさせることで、児童生徒に変化が起きるということでした。そして、「褒めるより認める」ことが必要だとのことでした。

その後の情報交換会では、講師の隣の席だったので、親しく話をさせてもらいました。

6月11日は、先の臨時議会で教育委員再任への同意を頂いたことから、市長から3期目の辞令を交付していただきました。

12日は市教委訪問で、上市来小学校を訪問しました。

上市来小学校も、これまで訪問した永吉小、花田小と同様、小規模・複式の学校で、来年度は全校児童数が20人を割り込むことが予想され、減少傾向に歯止めがかからず、厳しい学校経営を余儀なくされそうです。

学校教育目標は「挑戦・協力・感謝！一人ひとりが輝く上小っ子の育成」で、この教育目標を決定するに当たっては、児童や保護者の意見も踏まえたとのことでした。

重点教育課題としては、確かな学力の定着、心の教育の充実、体力・気力の向上、特色ある学校づくりの推進などが挙げられていました。

特に学力向上については「学習指導法改善」「基礎的・基本的内容の定着」「知識・技能を活用する学習活動の推進」「家庭学習の充実」の4つの柱を基に、「基礎タイム・学力向上タイム」を設定した取組や、ICT機器及びタブレット端末を活用した複式学級の強みを生かした学習指導が掲げられていました。

実際の授業参観では、1クラス10分ほどの参観でした。どの学年も「めあて」を掲げ、既習内容を応用して次のステップに進む授業構成でしたが、子どもが立ち止まってしまうと、教師が主導して想定された流れに引き戻そうとする意図が感じられたので、もっと子ども達同士で話し合わせたり、考えさせたりする時間設定があれば良かったのではないかと思います。

また、間接指導時間に、与えられた課題をやり遂げた児童が、直接指導の始まるまでに手持ち無沙汰になっている状況も見られたので、基礎的な学習方法の定着や個人の思考の深まりを助長するためにも、学力差や個人差に応じた手立てをもう少し準備しておく必要があったのではないかと思います。以上でございます。

奥教育長： ありがとうございます。中川委員、お願いいたします。

中川委員： 前回の定例会以降の活動について、ご報告させていただきます。

5月25日は、伊作小学校の運動会に出席いたしました。前日までの雨が嘘のように晴れわたり、青空のもと、子ども達の元気な声が校庭に響いていました。

今年度は午前中のみのプログラムでしたが、去年は学年区分で分かれて行っていた演目が、今年は1年生から3年生、4年生から6年生の2グループにまとめられるなど、スムーズな進行に工夫が見られました。入学して間もない1年生も、一生懸命に取り組んでおり、保護者の皆さんの温かな拍手と笑顔が会場を包んで

いました。

5月30日の午前中は、花田小学校を訪問いたしました。

私は入学式以来の訪問となりましたが、1年生が集中して授業に取り組む姿が見られ、学校生活にしっかりと適応している様子が窺えました。先生方の丁寧な指導のもとで、安心できる学びの環境が整えられていると感じました。

午後からは、鹿児島県教育委員会連絡協議会の総会及び研修会に出席いたしました。研修では、県教育庁高校教育課の福元様より「児童生徒の居場所、絆づくりの場としての学校」と題した講話を拝聴いたしました。

中でも心に残ったのは、昨年度の小中高生の自殺者数に関するお話です。先程、鶴木委員からもございましたが、日本全体の自殺者数が減少傾向にある一方で、小中高生の自殺者数は増加しており、鹿児島県内では昨年度3名の尊い命が失われたとの報告がありました。この事実を、私たち大人は極めて深刻に、そして責任ある立場として重く受け止める必要があると痛感いたしました。

講話では、全ての子ども達にとって、学校が心の居場所となるよう、「褒めるより認める」声かけによる自己肯定感の醸成、家庭と連携したインターネット利用ルールの整備、そして魅力ある学校づくりの推進などが重要であると示されました。

子ども達が問題を一人で抱え込まず、安心してSOSを出せるような関係性と環境づくりを、私たち大人が責任をもって築いていかなければならないと、改めて強く感じた一日でした。

6月12日は、上市来小学校を訪問いたしました。玄関では、笑顔の子ども達の大きな写真が迎えてくれ、温かく落ち着いた校風が感じられました。

小規模校でありながら、宿泊学習や修学旅行は近隣の美山小・伊作田小と連携して実施しており、6年生にはスクールカウンセラー体験も予定しているとのこと。中学校への移行を意識したスムーズな接続の工夫が印象的でした。

6月13日は鹿児島県教育事務所・日置市教育委員会合同で和田小学校の訪問を行いました。

和田小学校では、全校児童での竹太鼓活動に取り組まれてお

り、昼休みには自主的な練習を行っているとのことで、見学させていただきました。

6年生が中心となって進行を行い、1年生もしっかりと自分の担当を果たしており、上級生が下級生を育てる郷中教育の精神が自然に息づいていることを感じました。見守りの先生はいらっしゃいましたが、練習は子ども達自身の手で進められており、主体的な活動の成果が表れていました。以上でございます。

奥教育長： ありがとうございます。内村委員、お願いいたします。

内村委員： 報告させていただきます。5月30日の花田小学校の学校訪問、また、午後からの鹿児島地区教育委員会連絡協議会総会及び研修会、6月12日の上市来小学校の学校訪問については、鶴木委員、中川委員が詳しく述べられましたので、私からは割愛いたします。

5月25日は、日吉学園第5回運動会が開催され、出席しました。この時期の運動会も2年目を迎え、薄曇りの中、時々晴天も顔を見せ、絶好の運動会日和でした。

午前中での開催、また、2回の給水タイムを設けて、熱中症予防に配慮されていました。

1年生から9年生が一体となって、走ったり、団体演技を演じていました。義務教育学校の小中一貫の良さとして、前期課程の種目は後期課程の生徒が運営・進行し、また、後期課程の種目は6年生が分担し、それぞれが十分に責任を果たしていました。

最後の1年生から9年生までの紅白対抗リレーでは、リレーゾーンの位置やバトンの受け取り方法などを、低学年の児童にアドバイスをしたりして、優しい気持ちいっぱいの後期課程の生徒を見て、前期課程・後期課程一体となった、とても和やかな日吉学園の運動会でした。

5月28日は、日吉地域で400年前から続いている、お田植え踊り激励訪問をしました。市長、教育長、教育振興課長、日吉学園学校長、子連会長と私と、2組に分かれて、夜7時15分から訪問しました。

お田植え踊りは、日置4自治会、吉利4自治会で取り組まれており、私は吉利4自治会を訪問しました。今回は、日吉学園の前期課程の先生方も車に同乗されて、児童生徒の各地域での真剣な

踊りや、地域の方々と一体となった様子を見学され、とても感動されていました。6月1日の本番では、大きな掛け声で、カマとナタが競り合いますので、無事に本番で活躍することを祈念しました。

6月1日は、日吉地域のお田植え踊りせつぺとべ祭りが、晴天に恵まれて開催されました。今回も、日置八幡神社と吉利鬼丸神社に分かれて、それぞれの神社で神事が行われました。

神事後、8自治会の子ども会の小中学生が、ほぼ1カ月間にわたる夜の練習の成果を如何なく発揮して、鎌踊り、笹踊り、棒踊り、虚無僧踊りを各所で披露して、たくさんの見物人が感動の大きな拍手を送りました。

最近では市役所職員やALTの外国人、教職員も参加されて、女性も男性と肩を組みながら田んぼで飛んで、せつぺとべで日吉地域が大いに元気になりました。

小中学生は多くの見物人の前で踊ることで、自信がついて自己肯定感が育まれ、明日からの学園生活がもっと楽しくなることでしょう。

また、初参加された鶴丸小の先生は、早速、南日本新聞のひろば欄に「住民が力を合わせて楽しみながら、伝統行事を継承している姿に胸を打たれた。来年も一緒に飛び跳ねたい」と掲載されていました。

6月5日は、令和7年度みんなのYUMEタイムトライアル実行委員会総会に出席しました。この大会はコロナ禍の中、種々検討工夫して、これまで開催してきた梅マラソンに替わる、小中高生及び一般の方が参加できるタイムトライアル大会であり、今年で6回目になります。なお、開催日は令和7年12月7日(日)で、あいハウジング陸上競技場(伊集院総合運動公園陸上競技場)で朝9時にスタートすることに決まりました。

6月6日は、令和7年度第1回日置市総合計画審議会に出席しました。

永山市長あいさつの後、第3次日置市総合計画(案)の諮問書が手交され、審議に入りました。まず、事務局より説明があり、今回は第3次日置市総合計画の策定で、期間は令和8年4月1日から令和16年3月31日までの8年間とされます。

今回の計画書は市民に親しみやすいように漫画を取り入れ、令和16年、2034年の日置市の在りたい姿と6つの市民の暮らし及び取組の方向性で構成されていますと説明がありました。

種々質疑終了後、スケジュール説明で6月19日から7月18日にパブリックコメントを行い、12月に議会に上程し、来年3月に概要版(A3両面1枚)を各世帯に配布しますとありました。

6月11日は、令和7年度日吉学園第1回学校運営協議会に出席しました。

運営協議会の活動は、地域と一体となった特色ある学校づくりを推進するために、どう取り組んで活動していくか、また、その活動の中心である「ふるさと教育」を5地区館単位で昨年実施した活動内容を踏まえ、地域の力をどう子ども達の教育に生かして繋げていくかを話し合いました。以上でございます。

奥教育長： ありがとうございます。

委員の皆様と重複いたしますが、せつぺとべについては、私も内村委員と一緒に激励訪問をしまして、私は日置地区の方を回りました。

感想として、今回、今までど違ったのは、日吉学園の前期課程の先生方が、ほとんど一緒に激励に回られ、そうすると、子ども達の笑顔や帰る時の見送りが全く違ひまして、皆で最後まで手を振ってくれました。やはり、学校の先生方の力は大きいんだなと改めて感じました。

せつぺとべ当日は、内村委員の取り計らいで、教育委員会の職員やALTも参加をさせていただき、ありがとうございました。

併せて、南大隅町の交流の方々が、町長さん以下おいでになり、昼からは昼食を挟んで、小松帯刀ゆかりの園林寺の視察などを行って、交流を深めました。8月に子ども達が南大隅町を訪問して、交流をすることになっております。以上でございます。

4 議事

【報告第6号 令和7年度日置市一般会計補正予算（第3号）の市長への意見具申について】

奥教育長： 報告第6号令和7年度日置市一般会計補正予算第3号の市長への意見具申について説明をお願いいたします。

東局長 : 報告第6号令和7年度日置市一般会計補正予算第3号の市長への意見具申について説明をいたします。

本年度は5月に市長選挙を行う年ということで、当初予算は骨格予算でございました。今回の補正予算第3号は、いわゆる肉付け予算ということで、政策的な経費を含んだ予算となります。

資料の1ページでございます。令和7年度日置市一般会計補正予算第3号について意見を求められ、臨時に代理し、別紙のとおり回答したので、日置市教育委員会の行政組織等に関する規則第24条第2項の規定によりこれを報告するものでございます。

3ページのように意見を求められたので、2ページのように回答したものでございます。

補正予算の概要が、6ページになります。第1条です。今回の補正予算の総額21億3,265万9,000円を追加し、補正後の予算総額を315億5,645万9,000円とするものです。

9ページをご覧ください。10款教育費で1億6,360万8,000円を追加し、補正後の額が24億8,008万6,000円でございます。

主なものとしては、学校教育課へのICT指導官の配置や、下野建設文化ホールの舞台吊物、あいハウジング陸上競技場のスタンド、実総アリーナ高圧ケーブル等の改修工事が補正予算の主なものとなります。

その詳細を、説明資料の方で説明いたします。関連がございますので、歳出から説明いたします。

7ページをお願いします。1番下から8ページにかけて、10款01項02目事務局費、01節報酬、会計年度任用職員報酬です。ICT指導官の配置に伴い189万9,000円を増額計上するものでございます。ICT指導官は、9月1日から配置予定としております。

8ページの02節給料から9ページの04節共済費までは、職員の定期の人事異動に伴うものが、488万5,000円の減で、ICT指導官の配置に伴うものが、56万2,000円の増でございます。合わせて、人件費に関しては432万3,000円の減額補正となります。

9ページの08節旅費です。これはICT指導官の通勤費用として、7万4,000円を増額計上しております。

02項01目学校管理費、小学校管理費です。人事異動に伴い02節から10ページの04節まで、合わせて479万9,000円を減額計上いた

しました。

10ページの03項01目学校管理費、中学校管理費です。人事異動に伴い03節職員手当等と04節共済費を合わせて、1万9,000円を減額計上しております。

02目教育振興費、17節備品購入費です。11ページにかけて、中学校の図書購入費として20万円を計上しております。これは本田文庫記念碑建立実行委員会から、今年の2月に日吉学園に設置された本田勝彦氏の記念碑の設置費用に残金が出たので、それを寄附したいという申し出がありました。

寄附者の意向としては、日吉学園には記念碑を建てましたので、日吉学園以外の学校に活用してほしいということでした。金額が20万円ですので、日吉学園以外の中学校5校に図書購入費として4万円ずつ追加で配分するものです。

11ページになります。04項01目幼稚園費です。手当異動に伴い03節職員手当等と04節共済費を合わせて9万5,000円を増額計上いたしました。

入佐課長： 同ページの05項01目社会教育総務費です。02節給料から12ページの04節共済費までは人事異動に伴うもので、合わせて665万2,000円を増額計上いたしました。なお、給料、共済費等の人件費につきましては、以降説明を省略いたします。

02目公民館費、14節工事請負費、単独事業では、下野建設文化ホールの舞台吊物である反射板のワイヤーロープとリミットスイッチの耐用年数が超過しているため、安全性を考慮し、改修工事費として852万3,000円と、吹上中央公民館大ホールにてステージ上部の右側10cm程度が剥離し落下したため、内壁補修工事費として446万3,000円を合わせて1,298万6,000円を増額計上いたしました。

03目図書館費、12節委託料では、東市来図書館及び東市来保健センターの老朽化に伴う改修設計業務委託料724万8,000円と、アスベスト含有調査業務委託料23万1,000円を増額計上いたしました。

13ページになります。10款05項04目文化振興費、12節委託料では、文化会館の非常用自家発電設備の負荷試験を実施したいため126万5,000円を増額計上いたしました。

05目文化財費、12節委託料です。下段から14ページにかけて、登録有形文化財の登録のため沈壽官窯表座敷測量業務委託料として139万7,000円と、文化財保護法に基づき令和6年度に実施しました市来鶴丸城跡の確認調査の成果報告書のための報告書作成業務委託料718万3,000円を合わせて858万円を計上いたしました。

14ページ、06項01目は人件費ですので、省略させていただきます。

15ページ、10款06項02目体育施設費、10節需用費、施設維持修繕料です。吹上勤労者体育センター内のシロアリ被害によるフローリング床の一部とトイレの木製サッシ枠の入れ替え修繕料112万2,000円と、みなみの風総合運動公園のナイター支柱の継目部分の腐食補修のための照明柱点検補修料270万6,000円を合わせて382万8,000円を増額計上いたしました。

12節委託料、投資的委託料では、中村商会スタジアム本部席等改修工事設計委託料936万9,000円、また、その他委託料では、吹上勤労者体育センターのシロアリ駆除業務委託料19万8,000円と、中村商会スタジアムのアスベスト含有調査委託料23万1,000円を合わせて42万9,000円を増額計上いたしました。

14節工事請負費、単独事業では、あいハウジング陸上競技場のメインスタンドの外壁、トイレなどの改修工事の他、みなみの風総合運動公園の観覧席のクラックによる本部席雨漏り補修工事と実総アリーナの高圧ケーブルの老朽化による高圧ケーブル等取替工事、合わせて1億1,735万1,000円を増額計上いたしました。

17節備品購入費、1件100万円以上のものは、16ページにかけて、あいハウジング陸上競技場の公認に必要な超音波風速計一式131万2,000円を増額計上いたしました。

東局長： 続きまして、16ページの03目給食センター費です。人事異動に伴うもので、02節給料から04節共済費まで合わせて、86万2,000円を増額計上いたしました。

10節需用費、施設維持修繕料では、17ページにかけて、伊集院学校給食センターの調理室の照明器具、日置南学校給食センターの浄化槽処理水ポンプの取替修繕として、88万円を増額計上いたしました。

歳出は以上になります。次に歳入でございます。

入佐課長： 3 ページをお願いします。15款02項07目教育費国庫補助金、06節では、令和6年度に実施しました市来鶴丸城跡確認調査後の報告書作成業務に係る補助金で、埋蔵文化財緊急調査費国庫補助金として129万2,000円を増額計上いたしました。

4 ページの中段でございます。16款02項06目教育費県補助金、01節でも、市来鶴丸城跡確認調査後の報告書作成業務に係るもので埋蔵文化財緊急調査費県補助金として12万6,000円を増額計上いたしました。

東局長： 5 ページでございます。上から2段目の18款01項02目指定寄附金20万円は、先程の日吉学園の図書購入費に充てるものです。

21款04項04目雑入、02節雇用保険料の教育総務では、歳出で説明しましたICT指導官配置に伴う雇用保険料として1万1,000円を増額計上しております。

入佐課長： 6 ページをご覧ください。中段の22款01項06目教育債、03節保健体育債では、社会体育施設の個別施設計画に基づく長寿寿命化事業の起債として、あいハウジング陸上競技場メインスタンド改修工事費、実総アリーナ高圧ケーブル等取替工事費、中村商会スタジアム改修工事費等の各90%、1億530万円を増額計上いたしました。以上で説明を終わります。

奥教育長： ただ今説明がありました令和7年度日置市一般会計補正予算第3号につきまして、ご質問はございませんでしょうか。

はい、中川委員。

中川委員： ICT指導官の報酬等の予算が計上されておりますが、どのようなスケジュールで学校を回ってらっしゃるのでしょうか。

東局長： では初めに予算の説明をして、その後、活動の説明をいたします。

9月1日、2学期からの配置を考えておりますが、積算上では、フルタイムの勤務として積算をしてございます。

段原課長： 学校の教員のICTスキルの向上や、タブレットが替わるセカンドギガに対応して、学校の整備に関すること、そして授業に関することなどにICT指導官が関わることで、情報教育が力強く進んでいくと思っております。

また、必要に応じて学校に行き、先生方に具体的な指導をしていただくことも期待しております。

奥教育長： 9月からスタートしますので、細かい学校訪問等のスケジュールについては、その後必要に応じて計画を立てることになると思います。

よろしかったでしょうか。

中川委員： はい。ありがとうございます。

奥教育長： 他にございませんか。

(特になし)

よろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは報告第6号は、原案のとおり承認することとしてよろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは報告第6号は、原案のとおり承認されました。

【報告 第6号 承認】

5 その他

(1) 事務局長

(2) 学校教育課長

(3) 社会教育課長

(4) 各支所教育振興課長

ア 東市来支所長教育振興課長事務取扱

イ 日吉支所教育振興課長

ウ 吹上支所教育振興課長

(5) その他

6 閉会

奥教育長： それでは日置市教育委員会6月の定例会を終了いたします。

終了

署名委員 鵜木 親志 印

署名委員 中 新 辰 矢 印